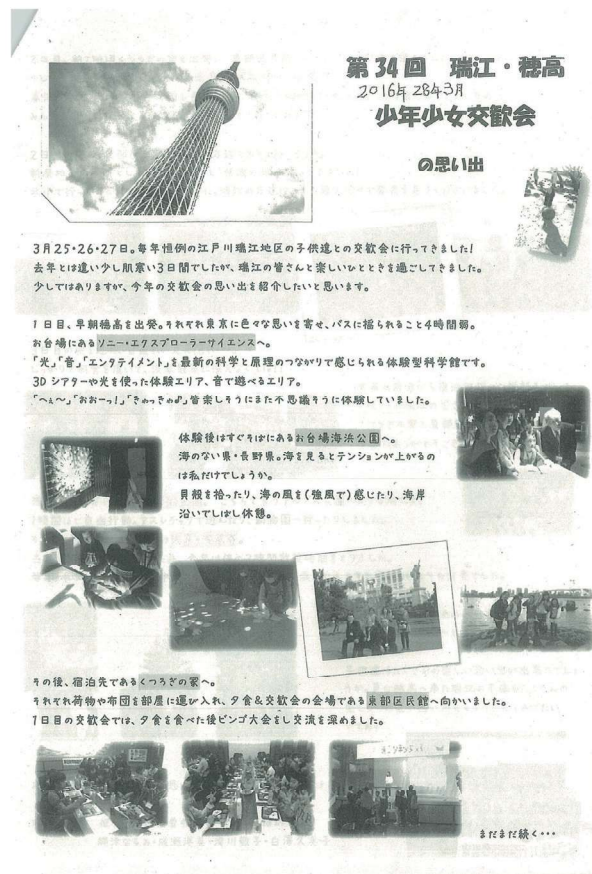


| | |
|----------|---|
| 事業名（商品名） | 安曇野市制 10 周年記念「和婚」プラン |
| 実施期間 | 平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日 |
| 開催（販売）場所 | セラヴィリゾート泉郷 ホテルアンビエント安曇野 |
| 実施内容 | <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新郎新婦様どちらかが安曇野市に在住又は出身者の方 ・安曇野市が大好きな新郎新婦様限定 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ・・・5 件 ・ご成約・・・・・・2 件 他 1 件 ⇒延期（ご親族様急病の為） 2 組の新郎新婦様が穂高神社で挙式をされ ホテルでご披露宴をされました。 又 43 名のお客様がご参列されました。 ・売上合計 1,496,302 円 <p>【反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市に在住していながら、松本市や長野市で結婚式を挙げている新郎新婦様が多くいらっしゃいます。 又結婚式を挙げない新郎新婦様も多くいらっしゃいます。 一組でも多くの新郎新婦様が安曇野市で結婚式を挙げて頂くことを願います。 これからも安曇野市での結婚式のプランを提案していきたいと思えます。 ・今回は期間限定の特別プランであったのですが、期間外のお問い合わせが多く残念でした。 ・参列者の中には安曇野市以外のお客様も大勢のお客様にお越し頂き、御宿泊頂きながら安曇野観光をされ楽しみながら、お帰りになりました。 <p>【提案】</p> <p>安曇野市で結婚される新郎新婦様を応援する企画を考えていきたい。 例えば安曇野市役所で結婚式を挙げることにより、ステキな市役所をおひとりでも多くの方に知って頂く、又親しみを持って頂くこともできる (新郎新婦様どちらかが安曇野市在住に限るなど)</p> |
| 参加者数等 | 参列者 43 人（婚礼件数 2 件 1,496,302 円） |

| | |
|-------|--|
| 事業名 | 第34回穂高新屋地区・江戸川瑞江地区春の少年少女交歓会 |
| 実施期間 | 平成28年3月25日～3月27日 |
| 開催場所 | 東京都江戸川区（瑞江地区） |
| 実施内容 | <p>3月25日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソニー・エクスプローラーサイエンス ・お台場海浜公園 ・東部公民館にて夕食と交歓会（ビンゴ大会） ・くつろぎの家に宿泊 <p>3月26日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京ディズニーシー ・カレーパーティー <p>3月27日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行船公園 ・浅草・浅草寺 |
| 参加者数等 | 参加者 35人 |



| 事業名 | こころの健康を考えるつどい | | | | |
|-------------|---|-----|-------|-----------|--------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 40 | 40 | 講演会、施設の展示販売会 |
| | 11 | 需用費 | 4 | 4 | 講演会花代 |
| | | | | | |
| | 合計 | | 44 | 44 | |
| 実施日 | 平成27年12月5日 | | 会場 | 豊科ふれあいホール | |
| 実施主体 | 安曇野市 | | 課・事務局 | 健康推進課 | |
| 趣旨・事業概要 | <p>地域において精神保健に関する理解を深め、精神障がい者の福祉及び住民の精神保健の向上を図る。</p> <p>【対象者 一般住民、民生児童委員、健康づくり推進員、精神障がい者等事業所関係者等】</p> <p>【参加人数 121人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <p>講演会 演題「うつ病からの回復～体験記より～」 講師 松南病院 名誉院長 田中恒孝氏 精神障がい等の事業所(9団体)による作品展示・販売 他</p> <p>○成果・効果</p> <p>多くの方の参加があり、「うつ病」という疾患や各団体の事業所の様子などを理解していただく機会となった。 講演後は、質疑も多く住民の関心の高さが伺えた。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>同時期の他のイベントと重なり、住民が参加しにくい状況があった。また、会場の管理を他の団体に委託していたため、緊急時の対応が困ったことなどから、次回は本庁での開催を検討し、より多くの住民参加を期待したい。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |



事業所の展示販売準備



講演会の様子

| 事業名 | 人権のつどい講演会 | | | | |
|-------------|---|-----|-----|-------|-----------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 8 | 報償費 | 62 | 7 | 作文受賞者記念品、講師土産 |
| | 11 | 需要費 | 212 | 129 | チラシ、ポスター印刷、生花他 |
| | 12 | 役務費 | 540 | 440 | 講演企画料（生涯学習課支出） |
| | 12 | 役務費 | 29 | 12 | 手話通訳 |
| | 合計 | | 843 | 588 | |
| 実施日 | 平成27年12月6日 | | | 会場 | 穂高会館（講堂） |
| 実施主体 | 安曇野市・安曇野市教育委員会 | | | 課・事務局 | 人権男女共同参画課・生涯学習課 |
| 趣旨・事業概要 | <p>市民の皆さんが人権について考え、お互いに人権を尊重し認め合う意識の高揚を図ることで、あらゆる分野において差別や偏見をなくすとともに、一人ひとりが平等な立場で個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目的に実施する。</p> <p>【対象者 一般市民】</p> <p>【参加人数 250人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング ペープサート（紙人形劇） ・第1部 全国中学生人権作文コンテスト松本地区大会優秀作品 入選者表彰式・発表 ・第2部 市民大学講座特別編 演題「決断 命のビザ～SEMPO 杉原千畝物語～」（一人芝居） 講師 水澤 心吾 さん ・その他 会場内にて男女共同参画かるた、人権啓発パネル展示 <p>○成果・効果</p> <p>オープニングでは、男女共同参画コミュニケーターの皆さんが、男女共同参画社会に向けた心がけを訴えかけた。第1部では、全国中学生人権作文コンテスト松本地区大会入選者の表彰と、代表者2名による発表を行った。第2部では、俳優の水澤心吾さんが第二次世界大戦時、リトアニア領事代理である杉原千畝の一生を熱演し、人の優しさや命の大切さを呼びかけた。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>若年層の来場が少なかった点が課題。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |

オープニング ペーパーサート



全国中学生人権作文コンテスト松本地区大会優秀作品入選者表彰式・発表



市民大学講座特別編



| 事業名 | 障害者週間講演会 | | | | |
|-------------|--|-----|-------|-----------------|-----------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 8 | 報償費 | 50 | 50 | 講師謝礼 |
| | 11 | 需用費 | 11 | 8 | ロール紙ほか |
| | 12 | 役務費 | 39 | 31 | 手話通訳・要約筆記 |
| | 合計 | | 100 | 89 | |
| 実施日 | 平成27年12月12日 | | 会場 | 豊科交流学習センター「きぼう」 | |
| 実施主体 | 安曇野市 | | 課・事務局 | 福祉課 | |
| 趣旨・事業概要 | <p>12月3日～9日の「障害者週間」にちなみ、市内在住の車いす陸上競技選手の樋口選手の講演を通じて、障がいの理解を深め、共生のまちの実現を図る。</p> <p>講師 樋口政幸さん</p> <p>【対象者 市民（市内外）】</p> <p>【参加人数 43人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子 演題「安曇野市から世界へ」</p> <p>○成果・効果 競技選手の講演会であったため、スポーツ少年団関係者へ周知したところ、指導者の方々に参加していただいた。今後指導者を通じて、多くの子どもたちが樋口選手への関心が高まり、「障がい」等の理解を深めるきっかけとなった。</p> <p>○課題・今後の展望など 広報誌やHPに掲載し、市内各所にポスター等も掲示したが、参加者が少なかった。周知方法などが課題である。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |

講演会の様子



| 事業名 | 平成28年 安曇野市消防団出初式 | | | | |
|-------------|--|-----|---------|-------|--------------------------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 659千円 | 579千円 | 市制施行・市消防団10周年記念品 呼子笛（ホイッスル） |
| | 11 | 需用費 | 290千円 | 249千円 | 記念パンフレット （A4版、1,300部、21頁） |
| | 11 | 需用費 | 125千円 | 65千円 | 出初式賞状 |
| | 合計 | | 1,074千円 | 893千円 | |
| 実施日 | 平成28年1月10日 | | 会場 | 穂高会館 | |
| 実施主体 | 安曇野市・安曇野市消防団 | | 課・事務局 | 危機管理課 | |
| 趣旨・ 事業概要 | <p>安曇野市消防団も発足10周年を迎えるため、この機会に合併からの10周年を振り返り、団員（市民）一人ひとりが安曇野市の更なる発展を目指し、元気な安曇野市づくりを進めていく雰囲気醸成を目的とする。</p> <p>【対象者；安曇野市消防団員及び市民】</p> <p>【参加人数；約800人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <p>例年ご臨席をいただいている来賓の外、10周年を記念して、元正副団長方面隊長をお招きし、消防団員450余名による分列行進、服装・機械器具点検、永年消防業務に功績のあった消防功労者の表彰等を実施した。</p> <p>○成果・効果</p> <p>団員等からは節目の出初式を盛大に挙行でき大変良かったと意見が多かった。分列行進は市民の防火・防災意識の高揚に資したと思われる。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>式典の内容は固定化されているが、参集範囲や会場等の見直しをする予定である。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |

第1部式典の様子



第2部分列行進の様子



| 事業名 | 平成28年 安曇野市成人式 | | | | |
|-------------|---|-----|-------|-------|----------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 2,052 | 1,580 | 記念品（写真、袱紗） |
| | 11 | 需用費 | 141 | 139 | 案内状、手提げ袋、演台用生花 |
| | 13 | 委託料 | 1,314 | 1,314 | 会場設営業務委託 |
| | 14 | 賃借料 | 280 | 280 | テント借上げ、無線機借上げ |
| | 合計 | | 3,787 | 3,313 | |
| 実施日 | 平成28年1月10日 | | | 会場 | 安曇野スイス村サンモリッツ |
| 実施主体 | 安曇野市、安曇野市教育委員会、 安曇野市成人式実行委員会 | | | 課・事務局 | 生涯学習課 |
| 趣旨・ 事業概要 | <p>開催趣旨</p> <p>今年成人となる若者を一堂に迎えて祝福するとともに、新成人としての自覚と誇りをもって前進することを念願して、安曇野市成人式を挙げる。この祝典を通じて、特に社会参加と、明るく豊かな社会づくりへの積極的な意識・態度を養う契機とする。</p> <p>【対象者 1,028人（男525人、女503人）】</p> <p>【参加人数 761人（男393人、女368人）】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <p>記念式典 14:00～14:30 【開式のことば、主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露 記念品贈呈、成人者あいさつ、閉式のことば】</p> <p>交流会 14:45～15:45 【懐かしの給食、卒業アルバムフォトムービー】</p> <p>○成果・効果</p> <p>元生徒会役員を中心とした成人式実行委員会を組織し、新成人自らが企画、運営に携わることができた。テーマを「踏み出せ～ゆとりなんて関係ない！～」とし、テーマにあったアトラクション「“ゆ”とり棒グラフ」を企画し、新成人に参加してもらった。また次回対象者のサポートスタッフにも運営に参加してもらい、自らの成人式の際の企画に反映するための機会とした。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>会場や、給食を出すことについて今後検討が必要。</p> | | | | |



記念写真の撮影



式典



交流会

| 事業名 | 堀金綱引選手権大会 | | | | |
|-------------|--|-----|-------|--------------|------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | 合計 | | 0 | 0 | |
| 実施日 | 平成 28 年 1 月 31 日 | | 会場 | 堀金総合体育館 | |
| 実施主体 | 堀金地域体育協会 | | 課・事務局 | 堀金地域課（堀金公民館） | |
| 趣旨・事業概要 | <p>堀金地域のスポーツ団体や一般から参加を募り、綱引き大会を開催し、冬季の運動と地域・世代を超えた交流を図る。（毎年開催）</p> <p>【対象者 堀金地域住民】</p> <p>【参加人数 400人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綱引き大会、ロープバランス崩し大会の2種目を年代別等でリーグ戦を行う。また、3方引き綱引きをトーナメント戦で行う。 ・述べ40チーム参加。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年代の述べ400チーム、400人が参加し、綱引きを通じて仲間づくり・世代間交流がなされた。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀金体育協会(H28年度より堀金スポーツコミュニティー)主催事業であるが、堀金公民館が事務を多く担っている。団体主体の運営が求められている。 | | | | |
| 備考 | * | | | | |



開会式



全体の様子

| 事業名 | 安曇野検定 | | | | |
|-------------|---|-----|-------|-------|-------------------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 168 | 147 | 会議出席謝礼、合格者記念品 |
| | 11 | 需用費 | 127 | 92 | ポスター・チラシ印刷 |
| | 13 | 委託料 | 731 | 702 | 問題作成・採点業務等委託 |
| | 合計 | | 1,026 | 941 | |
| 実施日 | 平成 28 年 1 月 31 日 | | | 会場 | 穂高会館 豊科交流学习センター「きぼう」 |
| 実施主体 | 安曇野市 | | | 課・事務局 | 生涯学習課 |
| 趣旨・事業概要 | <p>開催趣旨 町村合併に伴う市民の一体感の醸成を図ることを目的に、平成 23 年度から実施している。 受検者数 一般の部【基礎編】74 人、一般の部【上級編】27 人、ジュニアの部 150 人</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 一般の部【基礎編】：中学生以上／一般の部【上級編】：過去に実施した安曇野検定（一般の部）で、1 回以上合格したことがある人／ジュニアの部：小学生（4～6 学年向け） ・受検料 無料 ・時間 一般の部【基礎編】、一般の部【上級編】 共通：60 分／ジュニアの部：45 分 ・出題数 一般の部【基礎編】、一般の部【上級編】、ジュニアの部：50 問 ・出題形式 一般の部【基礎編】、ジュニアの部：四者択一／一般の部【上級編】：四者択一及び記述 ・出題範囲 一般の部【基礎編】、一般の部【上級編】：安曇野検定公式テキスト「安曇野の郷科書」の内容・平成 27 年度「安曇野を知る講座」の内容・市制施行 10 周年記念号（広報 10 月 7 日発行）全戸配布の内容 ジュニアの部：平成 25 年度発行安曇野検定【総合編】ジュニアの部学習資料の内容・学一般の部【基礎編】、一般の部【上級編】、ジュニアの部校教材「わたしたちの安曇野」の内容 ・合格基準 一般の部【基礎編】、ジュニアの部：35 問以上正解 一般の部【上級編】：40 問以上正解 ・合格者特典 一般の部【基礎編】合格者：合格証、認定バッジ及び市立の美術館・博物館の観覧料が 3 年間無料になる認定カードを交付 一般の部【上級編】合格者：合格証、認定バッジ、市立の美術館・博物館の観覧料が 3 年間無料になる認定カード及び市内文化施設の入場券各 1 回分を交付 ジュニアの部合格者：合格証、認定バッジを交付 ○成果・効果 ・合格者数（合格率） 一般の部【基礎編】67 人（90.5%）、一般の部【上級編】0 人（0%）、ジュニアの部 81 人（54.0%） ○課題・今後の展望など ・より多くの方に受検していただけるよう、安曇野検定実施の周知方法を工夫したい。 ・安曇野検定合格者のためのブラッシュアップ講座を、平成 27 年度から開催している。安曇野検定で学んだ知識を更に深め、学んだ知識を活かすことができるよう、安曇野検定合格者へ受講の御案内をするとともに、講座内容の充実を図りたい。 | | | | |



受検会場の様子（写真の会場は、豊科交流学習センター「きぼう」）

| 事業名 | 第5回田淵行男賞写真作品公募 | | | | |
|-------------|---|-----|-----|-------|-------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 19 | 補助金 | 500 | 500 | ポスター・チラシ作製等 |
| | | | | | |
| | | その他 | | | |
| | 合計 | | 500 | 500 | |
| | 上記の補助金等を含めた事業の総額【1,650千円】 | | | | |
| 実施日 | 平成28年3月10日選考会 平成28年8月11日表彰式 | | | 会場 | ビレッジ安曇野 |
| 実施主体 | 田淵行男賞写真作品公募 実行委員会 | | | 課・事務局 | 文化課・田淵行男記念館 |
| 趣旨・ 事業概要 | <p>田淵行男記念館の周年事業として平成12（2000）年に始まった田淵行男賞写真作品公募は、平成27年度が第5回目の募集年度に当たる。平成27年は田淵行男記念館開館25周年でもあり、市制10周年と冠を付し大々的に応募者を募る。</p> <p>【対象者 写真家・写真愛好家】 【参加見込人数 100人（150作品）】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子 名誉市民の田淵行男を顕彰することと、自然写真の発展への寄与することを目的として、第5回目の写真作品の公募をし、選考会（27年度中）、表彰式及び受賞巡回展の実施（28年度中）をする。</p> <p>○成果・効果 ちらし、ポスターなどには冠事業として大々的に市制10周年ということで宣伝させていただいている。第4回るときよりは、行政と一緒に広報できたので、市民への周知はできたと思う。</p> <p>○課題・今後の展望など 作品を1月6日から2月29日まで募集した。 選考会は3月10日に実施。28年4月に実行委員会の会長である市長の定例記者会見等で選考結果を発表し、28年度中に表彰式及び、巡回展を計画している。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |

安曇野市制施行10周年記念 ● 田淵行男記念館開館25周年記念



第5回 田淵行男賞 写真作品公募

応募受付

平成28年
1月6日(水)～2月29日(月)

山岳写真家、昆虫の生態学者であった田淵行男の偉大な業績を後世に残すと同時に、
新人写真家を発掘し、山岳写真、自然写真の発展に寄与することを目的として写真作品を公募します。

- 【賞】 田淵行男賞(賞金50万円)
特別賞(アサヒカメラ賞、フォトコン賞、岳人賞、山と溪谷賞)
【選考委員】 《選考委員長》飯沢耕太郎(写真評論家)
《選考委員》海野和男(写真家)/大森久雄(編集者)/佐々木広人(アサヒカメラ編集長)/
水越武(写真家)/百崎学(写真家)/堀久士(田淵行男記念館副館長)

応募・問い合わせ先

田淵行男賞写真作品公募実行委員会

【事務局】 田淵行男記念館 〒399-8201 長野県安曇野市豊科南穂高5078-2
【TEL】 0263-72-9964 【FAX】 0263-88-2010
【E-mail】 yukio-tabuchi.muse@vesta.ocn.ne.jp
【URL】 <http://tabuchi-museum.com/>

《第4回 田淵行男賞受賞作品》上田 大作 『風連湖-冬の物語』(20枚組み写真のうちの6枚)



夕暮で魚を水揚げする漁師



強雀



早朝の格闘



残月とオジロワシ



厳冬期の北ギツネ



朝焼けの中のオジロワシのヒナ

- 【主催】 田淵行男賞写真作品公募実行委員会(安曇野市、安曇野市教育委員会、公益財団法人 安曇野文化財団、田淵行男記念館)
【協賛】 (株)ニコン、(株)ニコンイメージングジャパン、富士フイルムイメージングシステムズ(株)、(株)写真弘社、アサヒカメラ、フォトコン、岳人、山と溪谷、キッセイ薬品工業(株)
【後援】 長野県、長野県教育委員会、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞松本支局、毎日新聞松本支局、中日新聞社、市民タイムス、大系タイムス社、産経新聞長野支局、松本平タウン情報、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、あづみ野テレビ、FM長野、あづみ野エフエム、FMまっもと